

名大遺伝子実験施設セミナー  
*Center for Gene Research Seminar*

## 植物オルガネラの転写後制御に関する核コードの PPR タンパク質

講師：一瀬 瑞穂 氏

(名大遺伝子・杉田研、日本学術振興会特別研究員DC2)

日時：2015年1月13日(火) 10:30~12:00

場所：理学部G館 G-101講義室

植物細胞内のミトコンドリアと葉緑体は、10数億年前にバクテリアが真核細胞内に取り込まれて誕生したオルガネラで、独自のゲノムと遺伝子発現システムを進化させてきた。ミトコンドリアと葉緑体の遺伝子発現は主に転写後レベルで制御されているが、この制御に核コードの pentatricopeptide repeat (PPR)タンパク質が中核的因子として関与していることが近年明らかにされつつある。私は基部陸上植物であるヒメツリガネゴケを用いて、PPRタンパク質の機能解明を目的として解析を行ってきた。本セミナーでは、RNA スプライシングと RNA 編集に働く PLS タイプの PPR タンパク質を中心にこの5年間の研究成果を紹介する。

世話人：木下 俊則 (内線 4778)  
kinoshita@bio.nagoya-u.ac.jp